

# ビジネスパーソンの「夏休み」と「シルバーウィーク」に関する調査2015

～「夏休み・シルバーウィーク」の海外旅行実施者10.9%、お盆休暇取得者が最も旅行実施比率は少ない～

2015年は「シルバーウィーク」に大型の連休があり、「夏休み」に続いて旅行やレジャーに行かれた方も多いのではないのでしょうか。また、2016年にはいよいよ8月11日に「山の日」の祝日が施行され、ますます休みも増える夏の時期の休暇について、2015年の傾向をさぐりました。

ビジネスパーソン1,000人のアンケートから、「リアルな夏休み・シルバーウィークの事情」に迫ります。

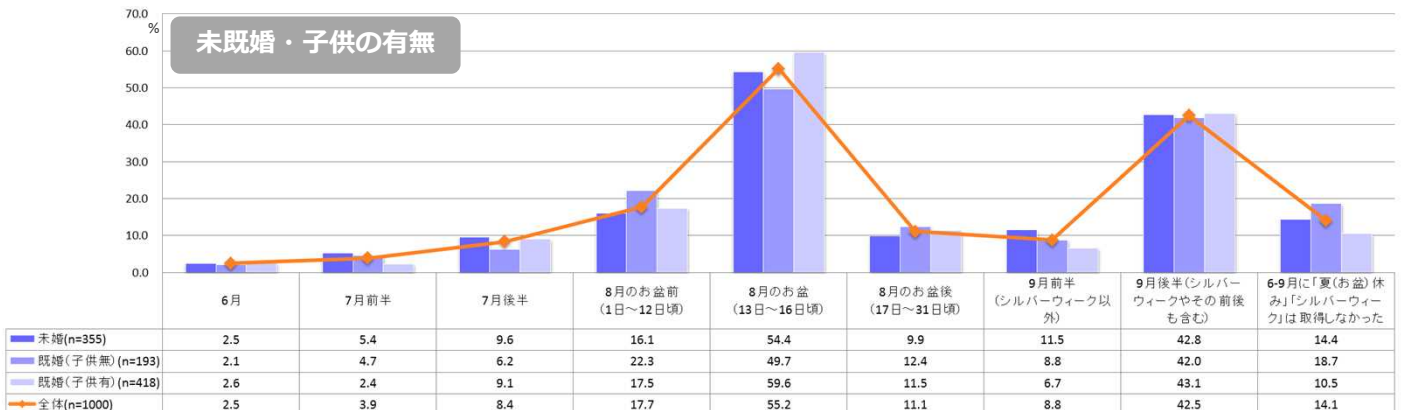
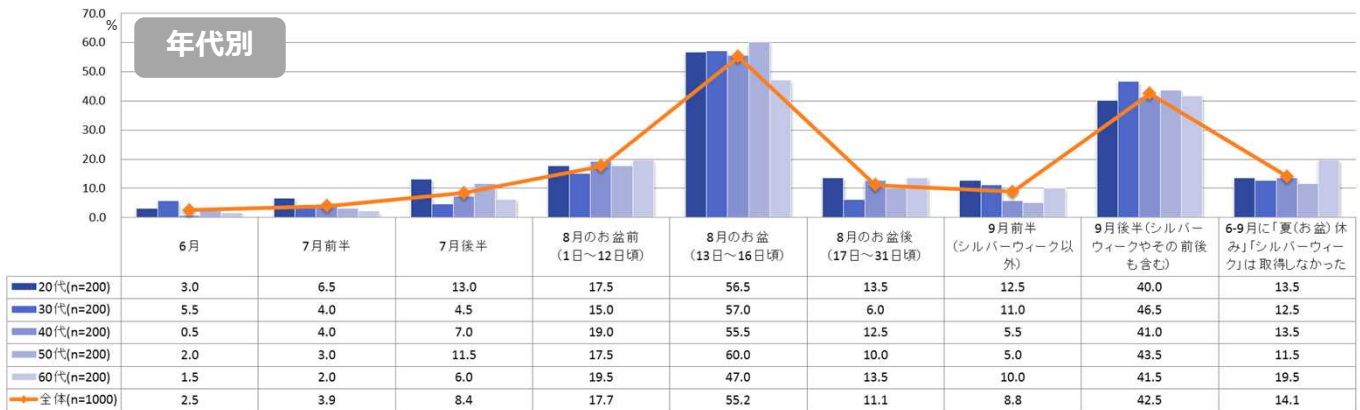
※P2以降のグラフではシルバーウィークを「SW」と省略しています。

## 【調査結果詳細】

6月から9月にかけての休暇取得率では「8月のお盆」頃が最も多く、56.5%、次いでシルバーウィーク42.5%。また、既婚者で子供がいる人の方が「お盆」の休暇取得率が高く、「休暇を取得しなかった」割合が最も低い。

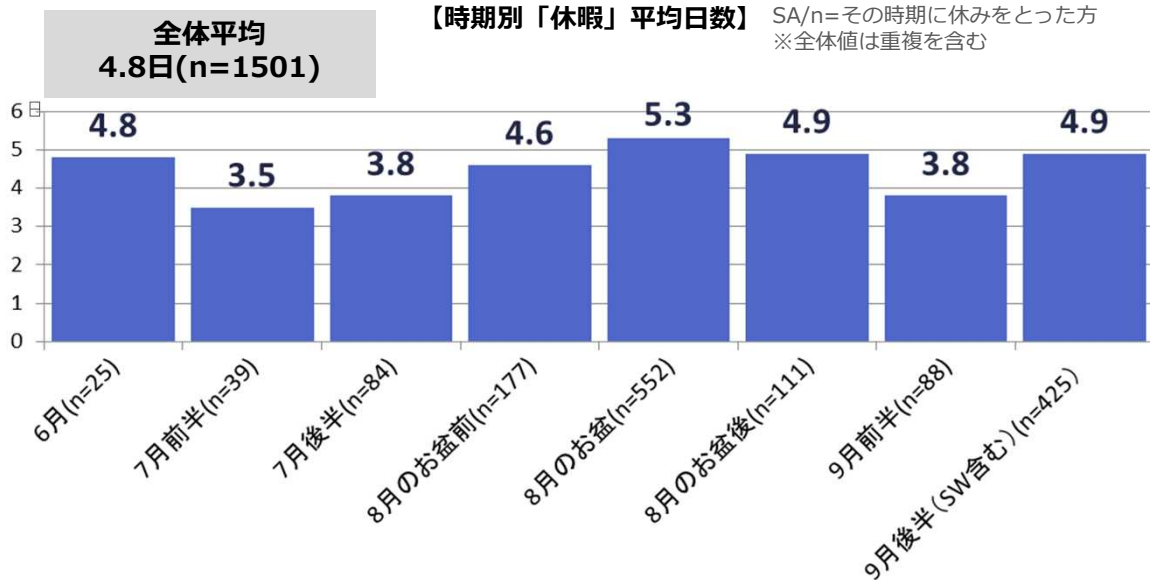
6～9月の間の休暇取得は、「8月のお盆」が突出して高い。夏休みもシルバーウィークも取得しなかった人は、14.1%。既婚者/子供がいる人は「お盆」の休暇取得率が高く、既婚者/子供がいない人では「休暇を取得しなかった」人が18.7%と、相対的に休暇取得率が低い。

【時期別「休暇」取得率】 MA/n=1,000



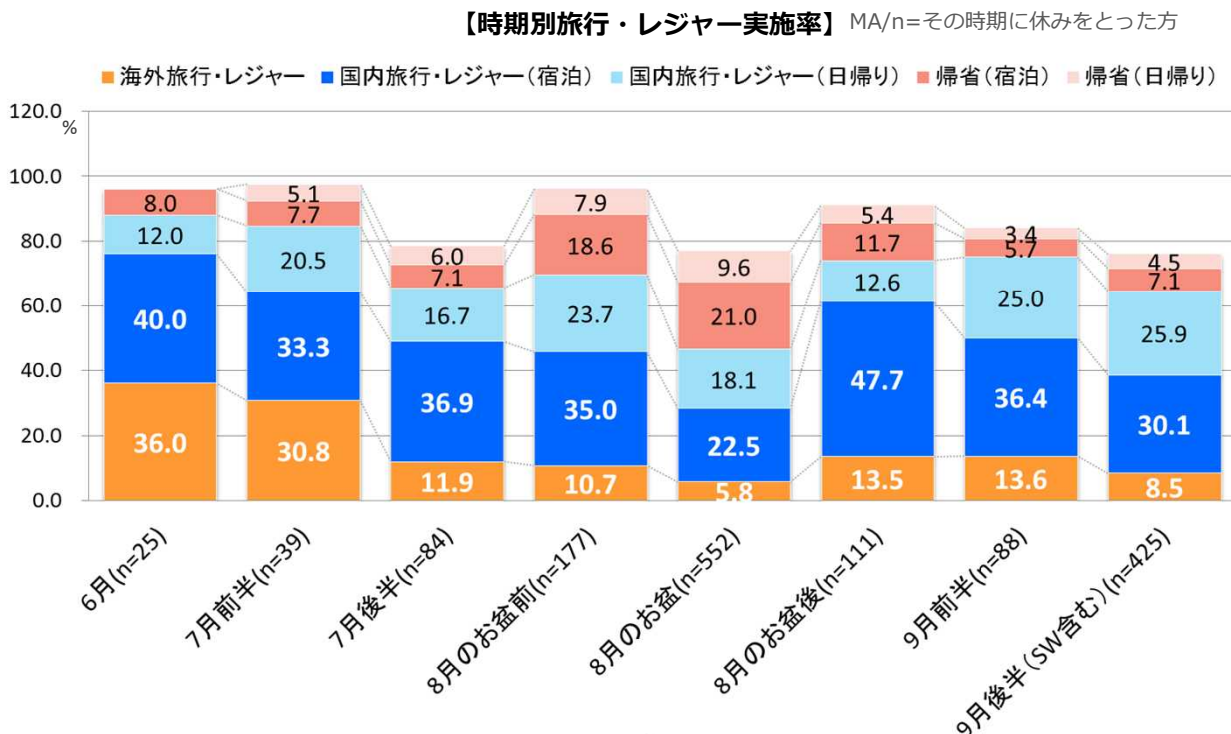
休暇取得時期別の休暇日数は、「お盆」に休暇を取った人が最も多く平均5.3日。次いで「お盆後」「9月後半 (SW)」4.9日。「7月前半・後半」、「9月前半」に休暇を取得した人は、平均日数が4日を切り、休暇日数が少なめであった。

平均休暇日数で見ると最も多い「お盆」と、最も少ない「7月前半」の差は1.8日となった。8月中はお盆前後も含めて、総じて休暇日数が多めであり、8月の前後の月はシルバーウィークを除いて低めの傾向が見られる。



海外旅行・国内旅行ともに「お盆」が最も実施率が低い。海外旅行に関しては8月以外の月の方が実施率が高く、国内旅行は「お盆の後」が最も高い結果となった。帰省に関しては、宿泊・日帰りとも「お盆」が最も高い。

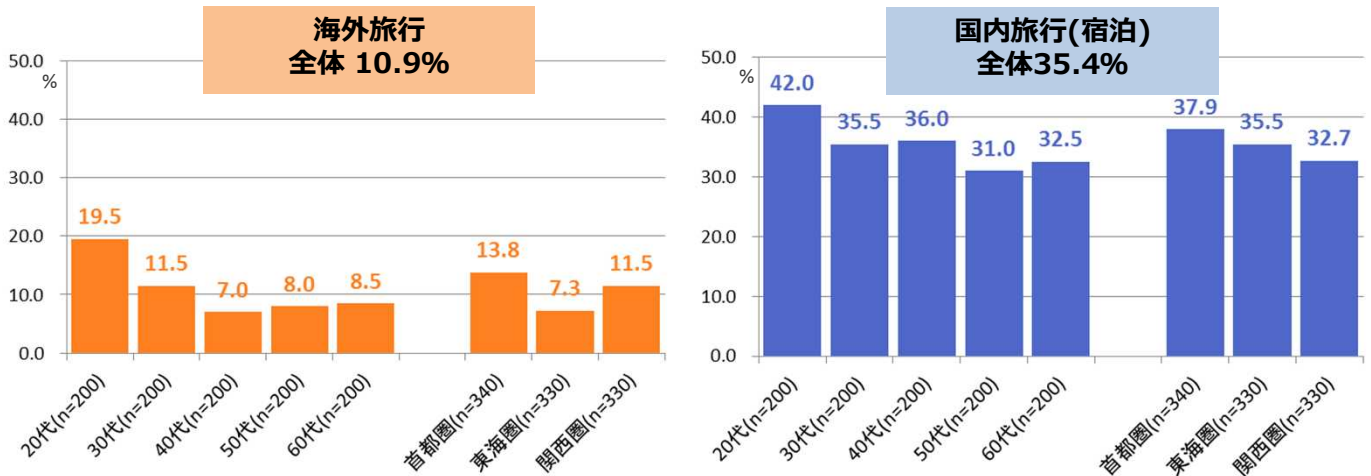
「お盆」の海外旅行実施率は5.8%、国内旅行では22.5%と全時期の中でどちらも最も低い。海外旅行に関しては「8月」以外の月に休暇を取った人の方が実施率が高い。国内旅行に関しては、「お盆」以外は3割~4割で推移するものの、「お盆後」の夏休みの駆け込み需要が最も高く、47.7%となった。



夏休み・シルバーウィークにおける旅行実施率は、海外旅行が10.9%、国内旅行(宿泊)が35.4%。海外旅行・国内旅行ともに、20代が最も高く、調査エリア別では首都圏が高い。海外旅行では首都圏に次いで関西圏が高いものの、国内旅行では東海圏が関西圏を上回る。

海外旅行実施率は20代が最も高く19.5%、次いで30代が11.5%。首都圏では13.8%と、東海圏7.3%より6.5ポイント高い。国内旅行も同様に20代、エリアでは首都圏が最も高い結果となった。

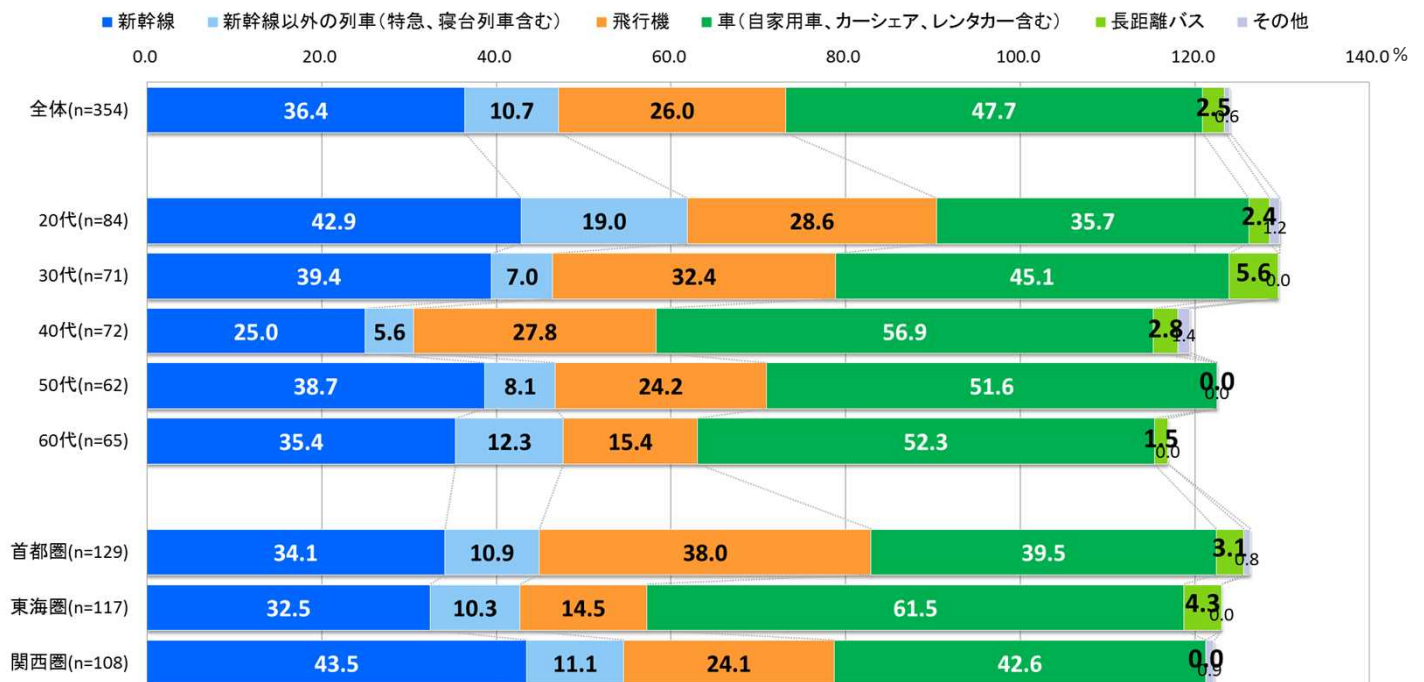
【「夏休み・シルバーウィーク」の旅行実施率】 SA/n=1000



夏休み・シルバーウィークの国内旅行(宿泊)で利用した交通手段で最も多いのは「車」、次いで「新幹線」、「飛行機」。20代では「新幹線」利用者が最も多く、「列車」利用自体が多い。40代以降は「車」利用者が5割を超える。

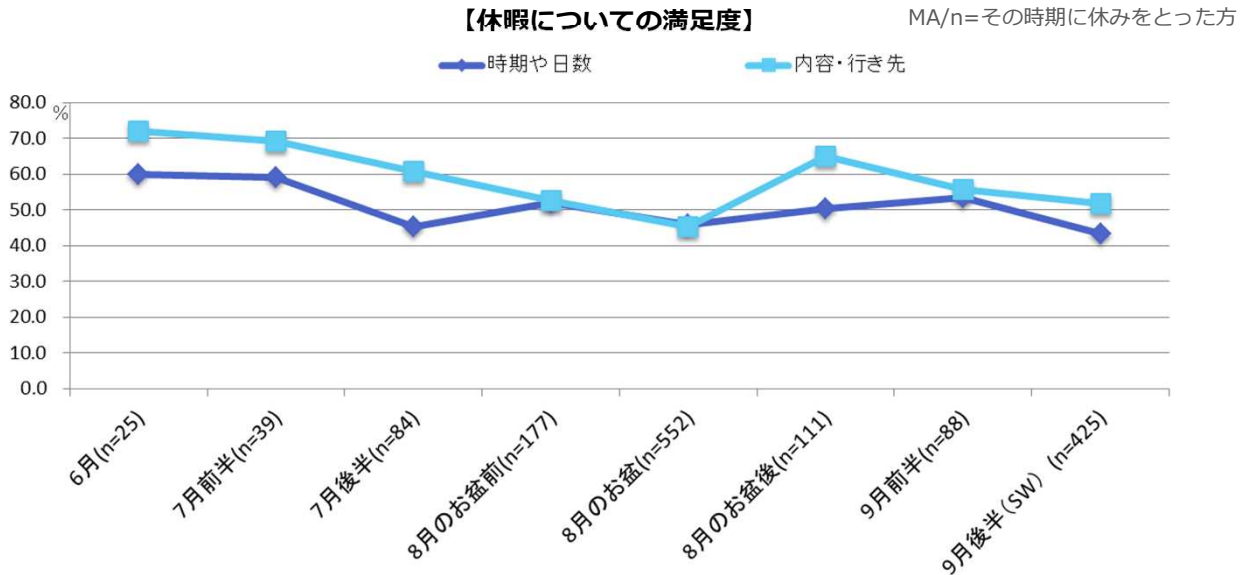
20代は「新幹線」の利用率が最も高く、「車」利用率が低い。対して40代のみ大幅に「新幹線」の利用率が低く、「車」が高い。エリア別には、首都圏では「飛行機」利用が東海圏に比べて20ポイント以上高く、東海圏は「車」利用が突出して高い。

【国内旅行(宿泊)で利用した移動手段】 MA(2つまで)/n=国内旅行(宿泊)実施者



「お盆」の休暇取得者は「内容・行き先」についての満足度が最も低く、「6月～7月前半」及び「お盆後」の休暇取得者は高めであった。「時期や日数」については、早い時期に休暇を取得した人の方が満足度が高め。

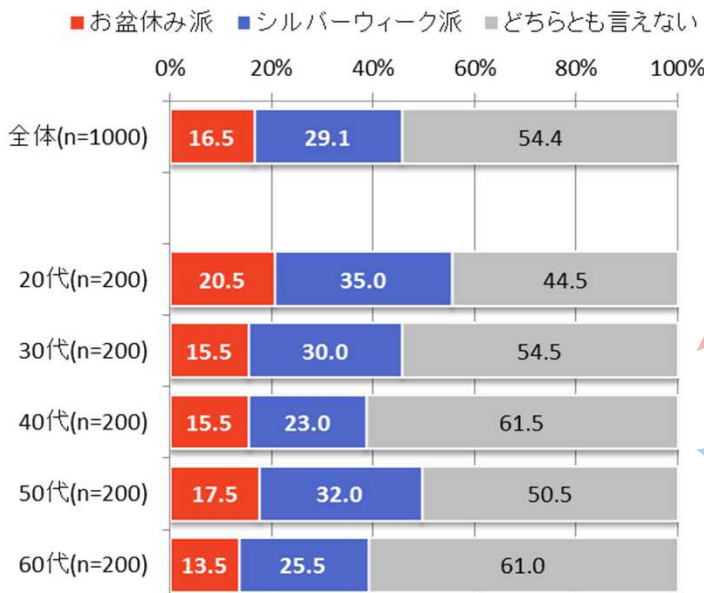
休暇の満足度を見ると「時期や日数」「内容・行き先」ともに、6月や7月前半と、早めに休暇を取得したの方がより満足度が高い傾向がある。対して「お盆」に休暇を取った方は、いずれの満足度も低めとなった。



海外・国内旅行に行く時期で良いと思う時期について、「お盆休み派」16.5%、「シルバーウィーク派」29.1%、「どちらとも言えない」54.4%。シルバーウィークがお盆より人気であった理由では「季節・気候が良いから」という理由が最も多く見られた。

20代が「お盆休み派」が最も多く20.5%、60代が最も低く13.5%。「お盆休み」が良い理由には「長く休める」「確実に休める」や、「子供や親戚と休みが合う」という意見が多かった。「シルバーウィーク派」は20代・50代に多く、「季節・気候が良い」の他に「お盆より混んでなさそう」「お盆より安い」「お盆は帰省を優先したいから」という理由があった。

【旅行を希望する時期】 SA/n=1000



■ お盆休み派の意見

長く休める／確実に休める／子供の休みがあるから／お墓参りのため／親戚と休みが合うから／取引先も休みだから／混んでなさそう／行楽地がにぎわい、業者のサービスもよい／イベントが多い時期だから／SWより安い／海や避暑地に行きたいから／会社にSWがないから／なんとなく／慣習で

■ シルバーウィーク派の意見

季節・気候が良いから・様々なレジャーが楽しめる／お盆より混んでなさそう／お盆より安い／お盆は帰省を優先したい

## ● 調査結果から

「お盆」の休暇取得率は55.2%、「シルバーウィーク」は42.5%となりました。全体の休暇取得率は85.9%。

「お盆」や「シルバーウィーク」だけに偏らず、異なる時期にずらして休暇をとっている方も多い様子がわかります。

さらに、海外旅行や国内旅行の実施率は「お盆」以外の方が高いという値も、今回見られました。あえて「お盆」を外して休暇を取得したの方が、よりアクティブに「夏休み」を満喫しているのではないのでしょうか。また年代別では、海外旅行も国内旅行も若年層ほど実施率が高く、エリア別では首都圏が最も高い傾向が伺えます。首都圏の若年層ほど、休暇で「旅行」を実施し、都会を離れのんびり過ごしているのかも知れません。

2015年はシルバーウィークに大型の連休がありましたが、それほど大きな連休はなかった前年の調査と比べても、6月～9月の休暇取得率はそれほど変わらない値となりました。毎年6月～9月は休めない、という方が一定の割合でいるようです。

### 調査概要

調査方法	インターネットリサーチ
調査地域	首都圏(東京都,神奈川県,埼玉県,千葉県) 東海圏(愛知県,岐阜県,三重県) 関西圏(大阪府,京都府,兵庫県,奈良県,和歌山県)
調査対象	20歳～69歳の男女ビジネスパーソン(マクロミルモニタ会員)
割付方法	エリア(首都圏,東海圏,関西圏) × 年代(20,30,40,50,60代)を均等に回収 / 合計1,000サンプル
調査日時	2015年10月30日(金)～11月2日(月)
調査機関	株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社マクロミル
その他調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内旅行(日帰り)、帰省(宿泊・日帰り)で利用した交通手段</li> <li>・国内旅行(宿泊)の提案時期、予約時期</li> <li>・海外旅行の提案時期、予約時期</li> <li>・「夏休み」「シルバーウィーク」の満足度(交通手段、旅費、同行者)</li> </ul>

<調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東海エージェンシー コミュニケーションデザイン部 担当：釣谷

TEL: 03-6688-5009 e-mail: n-tsuriya@jrta.co.jp